

開港5都市景観 まちづくり会議とは

安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切に守り、愛着を持ってそだて、個性豊かで魅力のあるまちづくりを行うため相互に交流を深め、課題を協議し、開港5都市のまちづくりの推進に資することを目的とした会議です。



1 目

全体会議1 時…時間 会…会場

受付・ ブースセッション

時 12:30～14:00

会場内に、各都市のブースを設置し、情報発信・交流を行います。

前半(基調講演)

時 14:00～15:20 ※1室はオンライン中継

会 出島メッセ長崎(85名×2室) 長崎市尾上町4-1

14:00～14:05 主催者あいさつ 実行委員長:桐野 耕一
14:05～14:10 開催都市あいさつ 長崎市長:田上 富久
14:10～14:20 3日間のプログラム説明
14:20～15:20 基調講演 講師:榊原 史博 様



プロフィール

マカオ政府観光局日本 代表
株式会社マイルポスト 代表取締役社長
山形県鶴岡市出身

多くの国の観光機関・企業等への助言等を行う一方、国内においても鳥取県、東京都小笠原諸島、沖縄 離島などにおいて、インバウンドに関する事業に注力。またその他 多くの都市の観光に関する委員を務められており、まさに観光のプロフェッショナルであり多岐にわたって御活躍中

後半(パネルディスカッション)

時 15:30～17:00 オンライン配信あり

会 出島メッセ長崎 107(85名) 長崎市尾上町4-1

テーマ▶ポストコロナ時代の観光まちづくり

各都市における新型コロナウイルスへの対応状況や、ポストコロナ時を見据えた今後の観光まちづくりについて考える。

- 各都市事例報告(各都市10分×5都市=50分)
- パネルディスカッション(40分)
パネラー:榊原氏、各都市代表者

時 15:30～17:00 オンライン配信あり

会 出島メッセ長崎 108(85名) 長崎市尾上町4-1

テーマ▶「港・水辺・海洋資源」を生かしたまちづくり

各都市共通の資源である港やそれをとりまく水辺、海洋資源を生かした産業形成や市民の居場所づくりなどについて幅広く考える。

- 各都市事例報告(各都市10分×5都市=50分)
- パネルディスカッション(40分)
パネラー:各都市代表者

大会のテーマ『ポストコロナ時代の「港」を生かしたまちづくり～歴史・つながり・未来～』に沿って、2つのテーマを設定し、各会場で議論を行う。

2 目

分科会

1 営みとつながりが創る新しい居留地物語～長崎居留地のランドデザインをめぐる旅～

長崎居留地は長崎歴史風致維持向上計画の中で「重点区域」と指定され、令和2年度から長崎市と協働で未来の居留地のランドデザインを考えてきました。今回の分科会では、策定されたランドデザインを元にまちを歩き、これから変わりゆく居留地の活用策を考えます。

料金 3,000円
場所 旧香港上海銀行長崎支店記念館
時間 9:00集合
定員 15名
昼食 長崎居留地ハヤシライス

体力 4



2 中国文化の伝来と湊

江戸時代から186年間続いた中国人居留地(唐人屋敷)には日本人は立ち入ることができない「リアルな中国」がありました。当時を描いた錦絵図(川原慶賀・円山応挙)に描かれた場所を中心に、新スポット「小島養生所(我が国初の近代西洋式病院)資料館」などを巡り、これからのまちづくりについて一緒に考えましょう。

料金 3,000円
場所 湊公園ステージ前
時間 9:00集合
定員 20名
昼食 長崎新地中華街グルメ
備考 歩く距離は長くはないが、履きなれた靴で参加下さい。

体力 4



3 風頭山「維新の道」を歩く

坂本龍馬や亀山社中のメンバーが活動した「維新の道」を歩き、450年前の開港から明治初期にかけて活躍した長崎の偉人が眠る風頭山の緑あふれる山麓の史跡を巡るツアーです。山頂には坂本龍馬像があり長崎港や市街地を一望でき、眺望景観がとても素晴らしい場所です。

料金 3,000円
場所 長崎市民会館2Fロビー
時間 9:00集合 定員 15名
昼食 和風ランチ
備考 階段で坂の町長崎を堪能する「健脚コース」で、足の悪い方の参加はNG。

体力 4



4 長崎の新名所「南部地区」ツアー～魅力あふれる過疎地域の未来を切り拓く～

深堀地区は長崎開港以前から栄えた武家屋敷跡で、景観形成重点地区に指定されています。一方、野母崎地区は江戸時代に異国船監視の番所が置かれ、風待港としても栄えた漁師町であります。10月には「のもぎき恐竜パーク」が誕生するなど、南部地区への関心が高まっており、歴史や自然、食を生かしたまちづくりについて考えます。

料金 3,000円
場所 出島表門橋前
時間 8:30集合
定員 10名
昼食 野母崎特製海鮮丼
備考 マイクロバスでの移動です。

体力 2



5 平成のアーバン・ルネッサンス構想と令和のまちづくり～大型事業の構想からデザインまで～

昭和50年代、造船不況で低迷する長崎経済再生のために発案された内港再開発計画「アーバン・ルネッサンス構想2001」。約30年の間に誕生した長崎水辺の森公園や長崎県美術館等の有力デザイナーによる公共施設のデザインを読み解き、新幹線開業を控える長崎駅周辺再生整備などの現在進行中の大型事業について考えます。

料金 2,000円
場所 長崎港松が枝国際ターミナル
時間 9:00集合
定員 15名
昼食 長崎ちゃんぽん(中華)

体力 3



6 港市長崎を「土木」で巡る旅

港を中心に発展した「長崎」に今なお数多く残る、数多くの土木構造物。これらの土木構造物を水面から、地上から、空中から巡る、普通では体験できないツアーを用意しました。非日常空間から、いつもの長崎観光とは全く異なる長崎の景観を体感し、新たな魅力を発見してください。

料金 5,000円
場所 袋橋
時間 9:00集合 定員 10名
昼食 長崎名物ちゃんぽん or 皿うどん
備考 シーカヤック2時間、急な階段500段を昇降、高所恐怖症の方、体力に自信のない方はご注意ください。

体力 5



7 女子さるく～みなとまちインスタ部(まちなか)

ネイティブ長崎弁を聞きながら「開港」「まちづくり」「女子目線」をキーワードに誰かに話したくなる、発信したくなる長崎を「さるき」ながらSNSの効果的な発信や繋がり方を考えます。路面電車の車窓から大変革中の街並みを眺め、マチを支える人にも出会います。洋館で頂く当日限りの「開港弁当」もご期待ください! 地元女子も参加!

料金 3,000円
場所 平和公園(平和祈念像前)
時間 9:00集合 定員 15名
昼食 長崎満載!開港弁当
備考 参加は女子優先です。

体力 4



8 「裏長崎」で「まち登山」～長崎アソビのニューノーマル～

長崎観光黄金ルートの背後にある丸山から十善寺の斜面地を裏長崎と呼んでみます。感覚を研ぎ澄まし、歴史遺構や昭和の風情、個性豊かなお店、空地活用の市民農園など知られざる地域資産を丁寧に味わいながら坂を登ります。山頂ではピクニックや長崎ハタ揚げ体験を予定。長崎アソビを体験しましょう!

料金 2,000円
場所 思案橋入口
時間 9:00集合
定員 10名
昼食 斜面地グルメピクニック

体力 5



9 茂木地域まるごとホテルプロジェクト構想の未来を描く～アルベルゴ・ディフーズを目指して～

茂木地区は市中心部から車で約20分の閑静な港町。山側にはブランド産品「茂木びわ」の産地、海側には良好な漁場が広がります。かつては長崎と熊本・雲仙をつなぐ港としても賑わい、多くの文化が営まれてきました。そんな風光明媚な環境や歴史文化を生かし、廃料亭を観光拠点として再生する新たな活動が注目されています。

料金 3,000円
場所 浜の町バス停(浜屋前)
時間 9:00集合
定員 15名
昼食 茂木自慢の海の幸ランチ

体力 3



10 都市景観大賞出島、長崎開港の起源長崎・江戸町の岬の歴史と未来～出島・長崎県庁跡地・国道34号線～

長崎開港の起源となるエリアを巡ります。西洋との窓口として栄えた出島は、戦後から進める復元整備事業が2017年の出島表門橋の架橋で節目を迎え、令和3年度に都市景観大賞を受賞。隣の江戸町エリアは長崎開港の起源となる岬の教会や奉行所、県庁等の重層的な歴史を擁し、今後は交流・賑わいの拠点形成が期待されています。

料金 2,500円
場所 出島表門橋入口
時間 9:00集合
定員 10名
昼食 出島ワーフオープンテラスランチ

体力 2

